

■山高しげり 婦人運動家、政治家。戦前戦後を通じて、時代環境に対応しながら、さまざまな組織の結成を主導。
やまたかしげり
Bushidou・・1899 = 三重県に生れる。

日露戦争終・1905 = 6歳：

アヲチ 創刊・1908 = 9歳：

明治天皇没・1912 = 13歳：

ロシア革命・1917 = 18歳：

ペルシ条約・1919 = 20歳：結婚のため東京女子高等師範学校を中退，金子姓となる。
大暴落・・・1920 = 21歳：国民新聞社の家庭部記者として，婦人参政権獲得運動にかかわる。
原敬首相暗殺1921 = 22歳：

関東大震災・1923 = 24歳：関東大震災で，焼けた遊廓の再興を許さない運動を起し，地域の婦人団体を連合させる契機となって，東京連合婦人会結成に参加。
護憲三派圧勝1924 = 25歳：*婦人参政権獲得期成同盟会結成の中心メンバーになる。
治安維持法・1925 = 26歳：会は婦選獲得同盟と改称，市川房枝の片腕として粘り強く運動を進める。
円本時代始・1926 = 27歳：

満州事変・・1931 = 32歳：弾圧がすすんで婦選運動は難しくなったが，婦人の地位向上・母子扶助・母性保護の運動にまで広げる。

帝人疑獄事件1934 = 35歳：「婦人問題の知識」。
母子保護連盟を結成(委員長山田わか)，議会に母子保護法の制定を要請し，
芥川直木賞始1935 = 36歳：

日中戦争始・1937 = 38歳：*成立にこぎつけた。

第二次大戦始1939 = 40歳：離婚。婦人時局研究会を結成，国策に協力しながら婦人の地位向上のため建議を行う団体として活動。
大政翼賛会・1940 = 41歳：戦時体制のもとで婦選獲得同盟を解散。
日米開戦・・1941 = 42歳：
近代の超克・1942 = 43歳：大日本婦人会発会とともに，羽仁説子・河崎なつと理事になり，遺家族の援護指導にあたる。

年金+総武装 1944 = 45歳：「女性の建設」，
敗戦・・・・1945 = 46歳：敗戦後，直ちに河崎らと新日本婦人同盟(のち婦人有権者同盟と改称)を組織，同年，婦人参政権が実現。

朝鮮戦争始・1950 = 51歳：全国未亡人団体協議会を結成，事務局長のち理事長に就任。
独立回復・・1951 = 52歳：
メヂ-事件・1952 = 53歳：*全国地域婦人団体連絡協議会(地婦連)を組織し，会長に就任。「地域婦人団体のあゆみ」，
テレビ放送始・1953 = 54歳：

55年体制始・1955 = 56歳：_{桜映画}設立，のち社長となる。

安保闘争・・1960 = 61歳：

全国総合計画1962 = 63歳：地婦連をバックに参院選全国区に出馬，繰り上げ当選，

大学紛争始・1965 = 66歳：再選，

第二院クラブに所属し，母子福祉法制定に尽力した。カラーテレビ値下げなどの消費者運動，原水禁運動の統一を訴えるなどの平和運動にもつとめた。

ドショク・・1971 = 72歳：この年まで参議院議員をつとめ，

石油ショック1973 = 74歳：

JALハイック・1977 = 78歳：没した。
没後「母子福祉四十年」「わが幸はわが手で」など刊行。

平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，「日本の女性」，